



小野特別支援学校

ほけんしつ

2025.12.17

かんせんせい い ちょうえん ちゅうい 感染性胃腸 炎に注意!

かんせんせい い ちょうえん れいねん がつ がつごろ とく りゅうこう かてい ちゅうい
感染性胃腸 炎は、例年1 2月～3月頃にかけて特に流 行します。家庭でも注意していただき
ますようお願いいたします。

■ かんせんせい い ちょうえん 感染性胃腸 炎とは

かんせんせい い ちょうえん おも びせいぶつ げんいん い ちょうえん そうしやう げんいん
感染性胃腸 炎は主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸 炎の総 称です。原因とな
るウイルスには、「ノロウイルス」、「ロタウイルス」、「アデノウイルス」などがあります。
れいねんあきぐち はる たはつ げんいん い ちょうえん
例年秋口から春にかけて多発しているのがノロウイルスを原因とする胃腸 炎です。

■ かんせんせい い ちょうえん かんせんけいろ 感染性胃腸 炎の感染経路

ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスが、ひと て かい くち はい
感染する可能性があります。(経口感染)

● 感染者の調理した料理から、感染が広がるパターン



● 不適切な便・嘔吐物の処理により感染が広がるパターン



■ かんせんせい い ちょうえん おも しょうじやう 感染性胃腸 炎の主な症 状は

おも しょうじやう ぶくつう げり おうと はつねつ しょうじやう ていど こじんさ おうと
主な 症 状は腹痛・下痢、嘔吐、発熱です。(症 状の程度には個人差があります)。嘔吐
げり つづ ばあい だっすいしょうじやう
や下痢が続いた場合、脱水 症 状 になることがあります。早めに医師の診察を受けましょう。

ノロウイルスを原因とする場合、症 状が続く期間は1～3日と短期間ですが、ロタウイ
ルス(げんいん)を原因とする場合は5～6日持続(むい か しぞく)することもあります。また、ロタウイルスによる
かんせんせい い ちょうえん ばあい べん はくしょく
感染性胃腸 炎の場合、便が白色になることもあります。

■ よぼう りゅうすい びょういじやうてあらい 予防には流水で30秒以上手洗い

ウイルス(げんいん)を原因とする感染性胃腸 炎には、通常(つうじやう)の風邪(かぜ)とは異なり抗生物質(こうせいぶっしつ)のような
「特効薬(とっこうやく)」がありません。そのため、「予防」が大変重 要となります。

アルコール消 毒(しょうどく こうか)は効果がありません。手っ取り早くできるのは、水(みず)やお湯(おゆ)の流 水(りゅうすい)で手洗
い(てあら)い(せつ)を15秒以上、できれば30秒以上おこなうこと!石けん(いしけん)を使うとさらに効果的(こうかてき)で、
流 水(りゅうすい)で洗(あら)う時間(じかん)を長く(なが)とることが大事(だいじ)です。他にも、ノロウィルスによる食 中 毒(しょくちゅうどく)予防(よぼう)の
ポイントとして、火(ひ)を通(とお)すことが必要(ひつよう)な食 品(しょくひん)は、ノロウィルス(しめつ)を死滅(しめつ)させるため、85度(ど)で
1分(ぶん)以上加熱(かねつ)することが大切(たいせつ)です。

■ とぶつ げりべん しょうり 吐物・下痢便の処理

○嘔吐物(おうとぶつ)やおむつ(おむつ)などを処理(しり)するときは、伝染(でんせん)しないよう使い捨て(つか す)のマスク(マスク)やガウン(エプ
ロン) (エプロン)、手袋(てぶくろ)を着用(ちやくよう)します。ない場合は、処理(ばあい)したあと(しょうり)しっかり手洗い(てあら)いをします。
○飛散(ひさん)させないようにキッチンペーパー(キッチンペーパー)などをかぶせて、次亜塩素酸(じあえんそさん)ナトリウム液(えき か き
液) (下記 参 照) (さん しょう)をかけてきれいにふき取(と)ります。
○使用(しょう)した食器(しょっき)などは食後(しょくご)すぐに次亜塩素酸(じあえんそさん)ナトリウム液(えき)に漬(つ)けます。周囲(しゅうい)のカーテン(カーテン)や
衣類(いるい)、ドアノブ(ドアノブ)なども次亜塩素酸(じあえんそさん)ナトリウム液(えき)でふくか、85度(ど)以上(いじょう)のお湯(おゆ)で熱湯洗(ねつとうせんたく)濯(たく)
してください。
☆すぐ(あら)に洗(ふ)えない布団(ふとん)などは、スチームアイロン(ふとんかんそうき)や布団乾燥機(こうかてき)なども効果的(こうかてき)です。

＜次亜塩素酸ナトリウム液の作り方～市販の漂白剤(塩素濃度約5%)の場合～＞

